

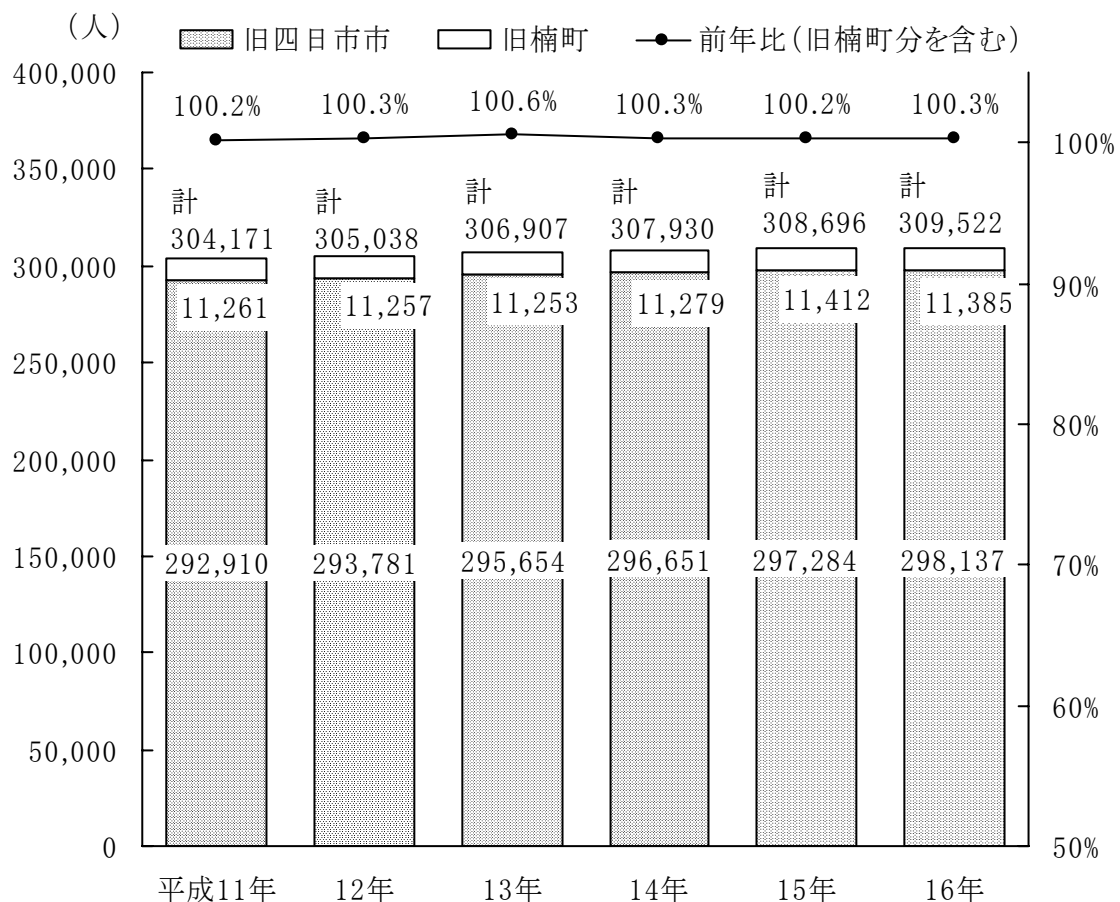
## 第2章 少子化社会の中で 本市をとりまく状況

### (1) 少子化・子育て家庭・女性就労などの状況

#### 人口の動向

##### 人口の推移及び増加率

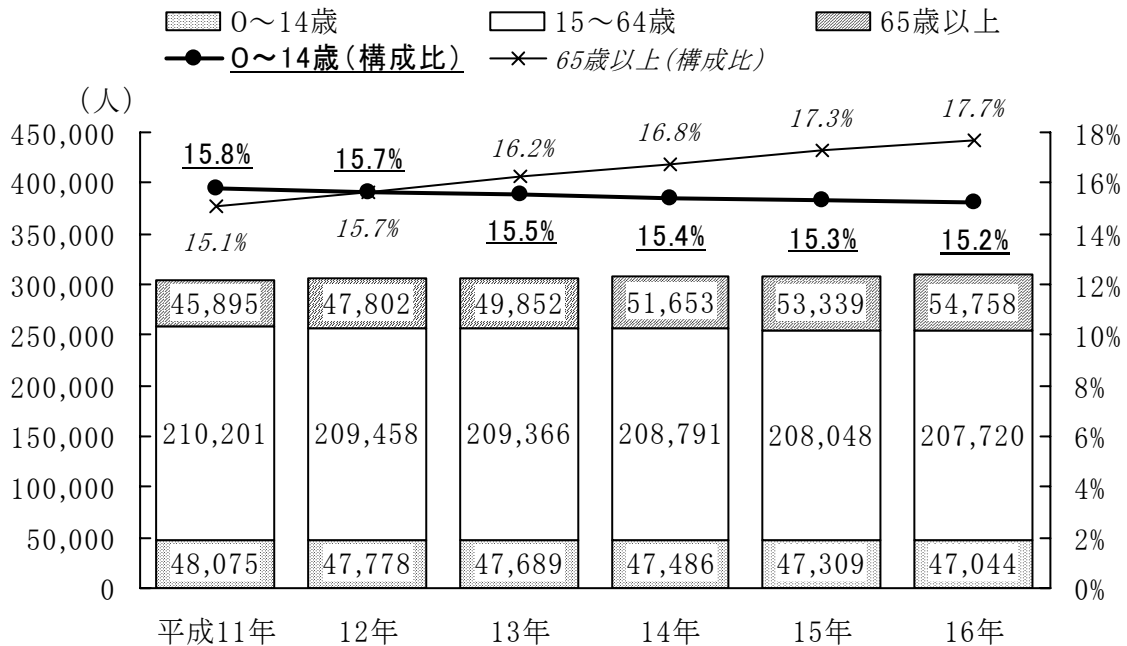
本市の人口は、住民基本台帳によると平成16年10月1日現在で、309,522人（旧楠町分を含む）となっており、わずかながら増加傾向にあります。しかしながら、対前年比で人口の増加率を見ると1%未満の増加率になっています。



(資料：住民基本台帳、各年10月1日)

## 年齢階層別人口の推移

65歳以上の高齢者人口は増加傾向、15歳未満の年少人口は減少傾向にあり、本市においても少子高齢化の進展がうかがえます。平成11年までは、15歳未満の年少人口の比率が、65歳以上の高齢者人口の比率を上回っていました。しかし、平成12年以降は、これらの比率が逆転しました。



(資料：住民基本台帳、各年10月1日、旧楠町分を含む)

## 将来児童人口の推計

### 平成17~21年の推計児童人口

18歳までの児童人口を推計してみると、緩やかながらも、減少傾向にあります。合計で見た場合、約2.6%の減少と推計されます。

住民基本台帳及び外国人登録の実績人数を使用し、コーホート変化率法により推計

児童年齢		0~5歳	6~11歳	12~17歳	合計
推計人口	平成17年	18,799人	18,891人	18,805人	56,495人
	平成18年	18,615人	18,805人	18,710人	56,130人
	平成19年	18,308人	18,864人	18,535人	55,707人
	平成20年	17,940人	18,951人	18,466人	55,357人
	平成21年	17,523人	19,076人	18,429人	55,028人

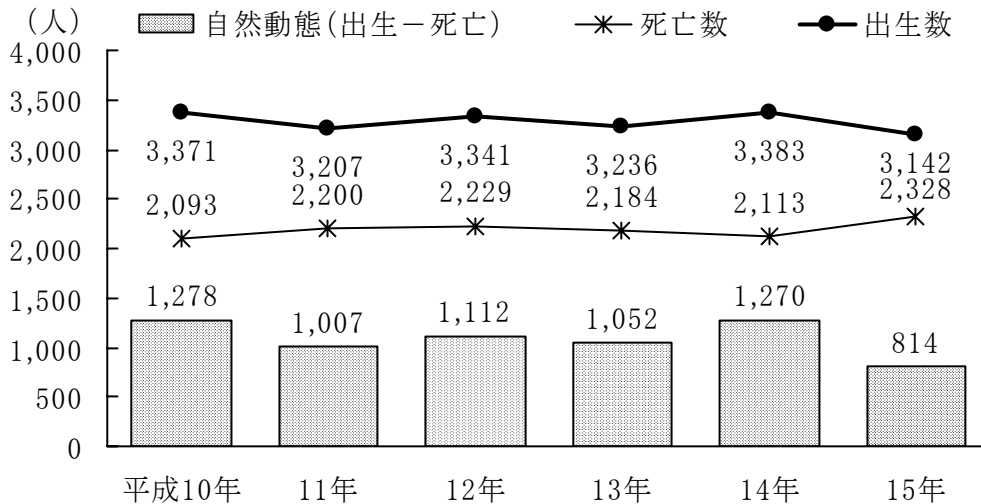
(年齢は4月1日時点でのもの、旧楠町分を含む)

# 自然動態

## 出生数・死亡数の推移

出生数と死亡数の推移を見ると、出生数は増減を繰り返しながらもほぼ横ばいとなっています。死亡数は、増減を繰り返しているものの、全体としては増加傾向にあります。

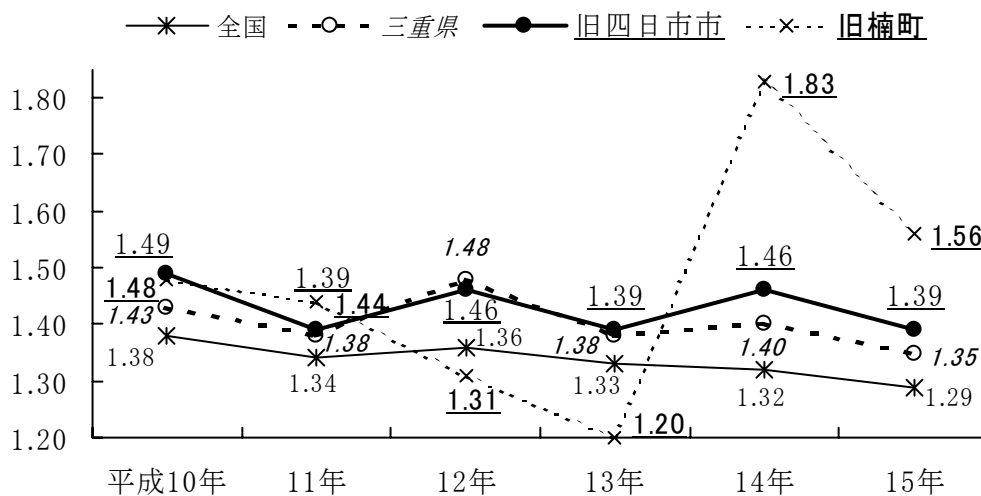
出生と死亡による人口の増減（自然動態）を見ると、出生数が死亡数を上回る、いわゆる自然増加が続いており、平成15年は814人の増加となっています。



(資料：四日市市IT推進課『平成15年版四日市の人口』、旧楠町分『人口調査統計表』を含む)

## 合計特殊出生率の推移

市町村単位での合計特殊出生率( )については、出生数の少なさに起因する偶然性の影響のため、数値が不安定となり、全国、三重県との比較は困難ですが、若干少子高齢化の波は緩やかだと言えます。



(三重県四日市保健福祉部総務室調べ)

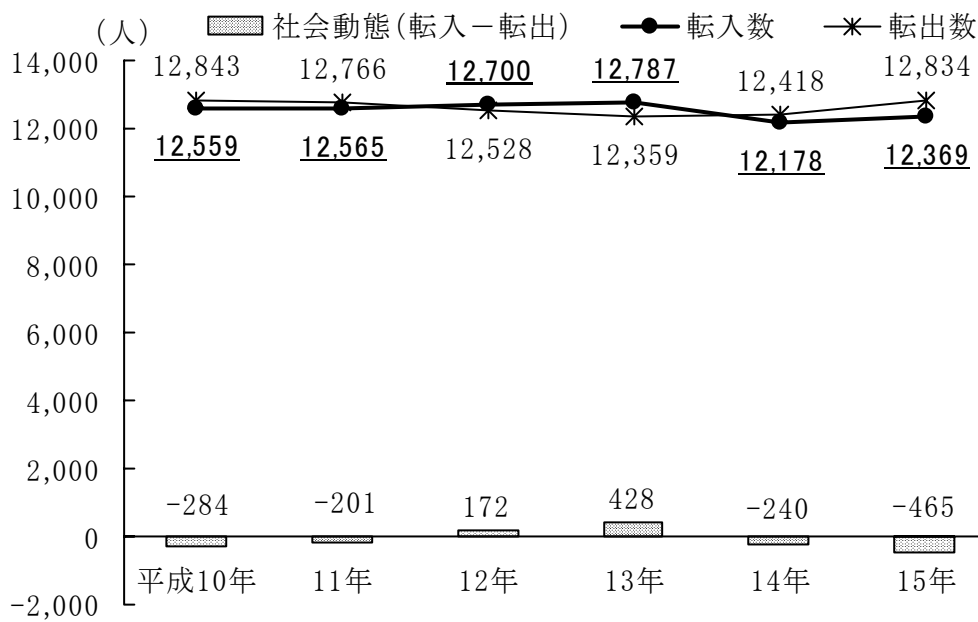
合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するものです。

# 社会動態

## 転入数・転出数の推移

転入数は、増減を繰り返しながらもほぼ横ばいとなっており、1年間あたり12,000人程度の転入があります。転出数も、増減を繰り返しながらもほぼ横ばいとなっており、1年間あたり12,000人程度の転出があります。

転入と転出による人口の増減（社会動態）を見ると、平成12～13年に転入が転出を上回る社会増がありました。しかしながら、平成14年には、転入が転出を下回る社会減に転じました。



(資料：四日市市IT推進課『平成15年版四日市の人口』、旧楠町分『人口調査統計表』を含む)

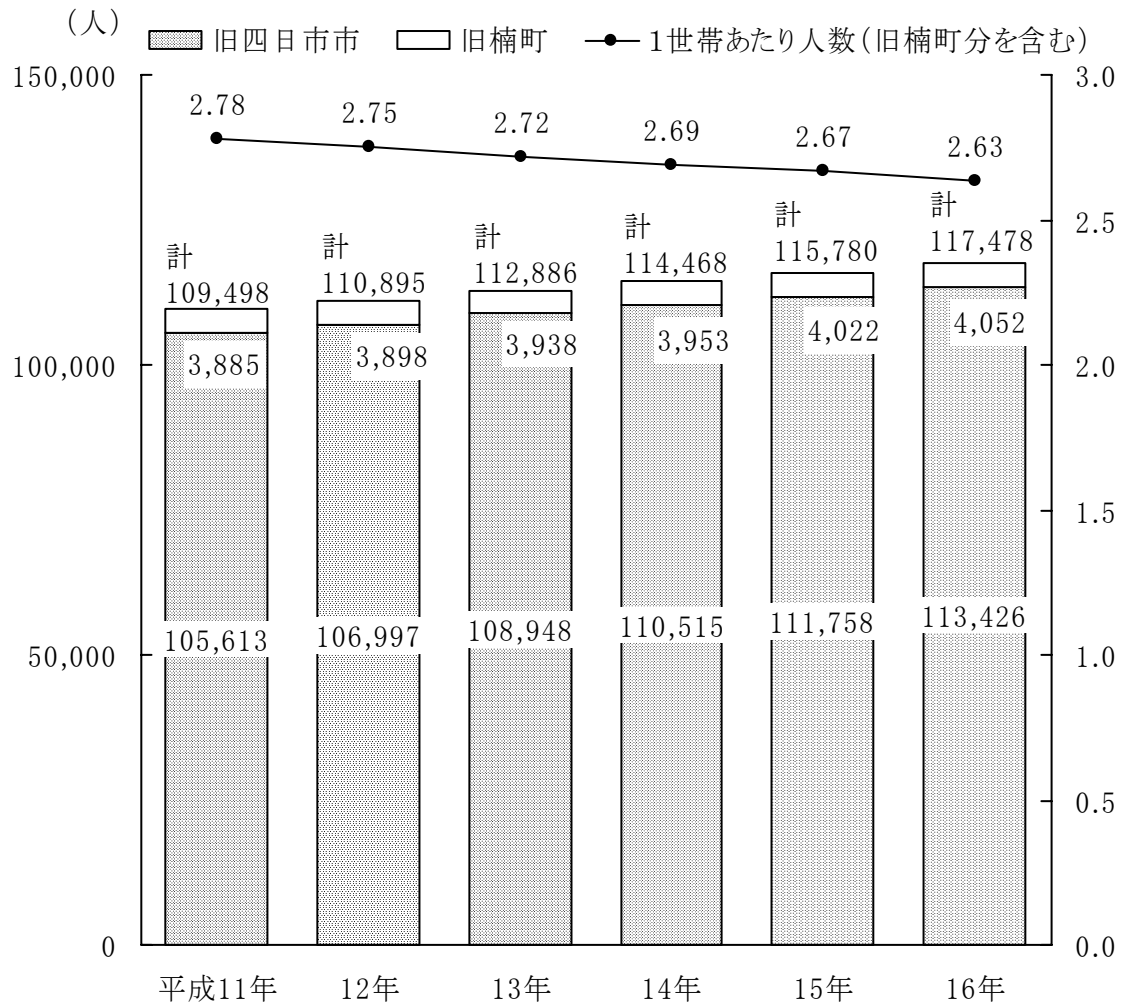


# 世帯の動向

## 世帯数・1世帯あたり人数の推移

世帯数は、住民基本台帳によると平成16年10月1日現在で、117,478世帯（旧楠町分を含む）となっており、増加傾向にあります。

1世帯あたり人数の推移を見ると減少傾向にあり、平成16年10月1日現在で、2.63人となっており、世帯の小規模化が進行しています。

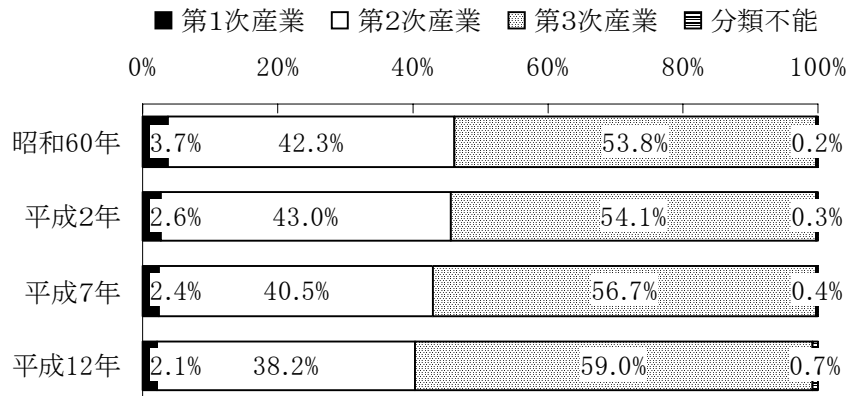


(資料：住民基本台帳、各年10月1日)

# 就業の状況

## 産業分類別就業人口

平成 12 年の国勢調査によると、第 3 次産業が 59.0%で最も多く、次いで第 2 次産業が 38.2%、第 1 次産業が 2.1%となっています。第 3 次産業の就業者の割合は増加しています。

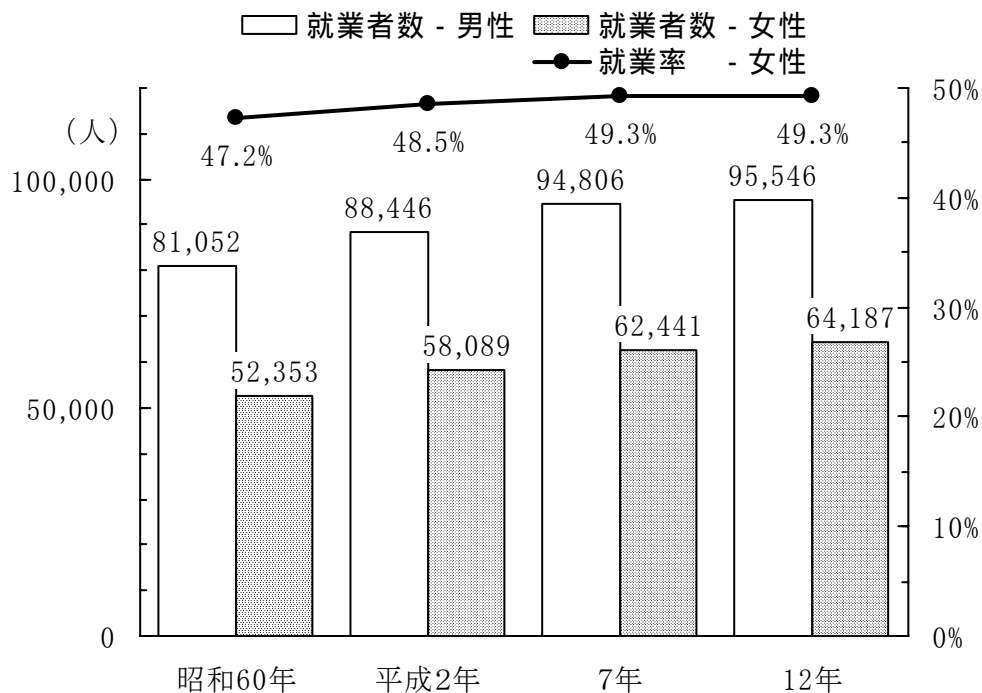


(資料：『国勢調査』、旧四日市市分)

## 女性の就業状況

就業者数は、男女ともに増加しています。

女性の就業率を見ると、昭和 60 年の国勢調査では 47.2%でしたが、徐々に増加し、平成 12 年では 49.3%となっています。



(資料：『国勢調査』、旧楠町分を含む)

## ( 2 ) 本市の関連施策の状況

### 児童福祉施策の状況

#### 認可保育所入所児童の状況

平成 16 年 4 月 1 日現在の市内の認可保育所数は、市立 30 カ所（旧楠町分の 2 カ所を含む）私立 17 カ所の計 47 カ所となっています。入所児童数は、市立 2,698 人（旧楠町分の 135 人を含む）私立 1,698 人の計 4,396 人で、平成 14 年と比較すると、増加しています。

	認可保育所数（カ所）			入所児童数（人）			定員（人）
	市立	私立	計	市立	私立	計	
平成 14 年	30	17	47	2,726	1,629	4,355	4,285
平成 15 年	30	17	47	2,727	1,614	4,341	4,305
平成 16 年	30	17	47	2,698	1,698	4,396	4,355

休園中を除く

広域入所、受入とも除く

（各年 4 月 1 日現在、旧楠町分を含む）

#### 認可保育所のサービス実施状況

平成 16 年 4 月現在の市内の認可保育所における特別保育等の実施状況は、次のとおりです。

19 時までの「延長保育」は 13 カ所、未就園児が一時的に保育を受ける「一時保育」は 5 カ所（旧楠町分の 1 カ所を含む）保護者の就労その他の理由により週 2 ～ 3 日程度の保育を受ける「特定保育」は 4 カ所、「乳児保育」は 22 カ所（旧楠町分の 2 カ所を含む）で、そのうちの 5 カ所は産休明けから実施しています。また、「障害児保育」の拠点園は 5 カ所、準拠点園は 8 カ所です。

区 分	市立実施園	私立実施園	計
延長保育（19 時まで）	1	12	13
一時保育	2	3	5
特定保育	1	3	4
乳児保育	9	13	22
障害児保育（拠点）	5	-	5
障害児保育（準拠点）	8	-	8

（平成 16 年 4 月現在、旧楠町分を含む）

## 地域での子育て支援サービスの実施状況

すべての子育て家庭を支援するため、地域子育て支援センターを7カ所(単独型1カ所、市立保育園2カ所、私立保育園2カ所、小児医療機関2カ所)設置しています。また、すべての保育園において、「あそぼう会」を実施し、園庭開放や子育てに関する相談を行っています。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
あそぼう会参加者数	41,679人	41,495人	41,317人

旧四日市市立保育園分

## 橋北子育て支援センター(単独型)での相談の状況

橋北子育て支援センターは、平成14年度から単独型として事業を開始しました。そのうち、子育て相談に関する件数は、電話での相談を含めると次のとおりです

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
相談件数	-	149件	268件

## 家庭児童相談室における相談の状況

相談件数は、2,000~2,500件で推移しています。相談内容でみると、特に虐待、その他の家族関係に関するものが、平成13年度では791件であったのに対し、平成15年度では937件と増加しています。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
相談件数	2,425件	2,314件	2,145件





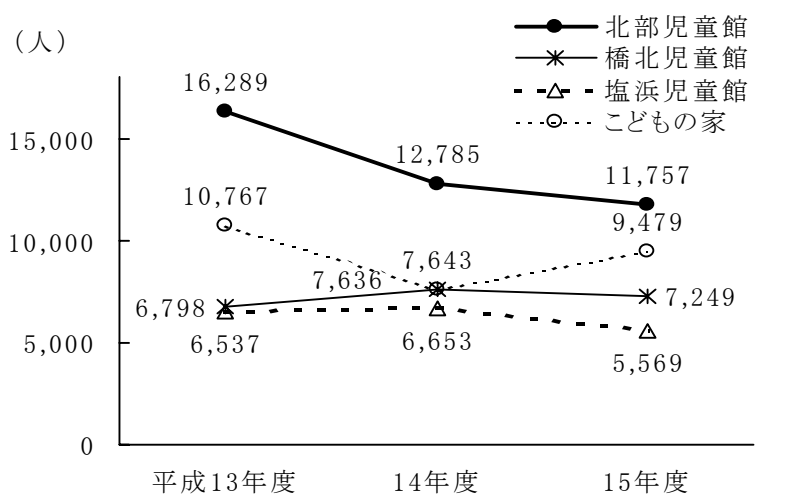
## 認可保育所以外の民間保育施設等の状況

市内の認可外保育施設は6カ所、企業内保育施設は10カ所あります。

区分	平成13年 5月1日	平成14年 8月1日	平成15年 10月1日
認可外保育施設 利用者数	81人	63人	67人
企業内保育施設 利用者数	171人	139人	176人
計	252人	202人	243人

## 児童館の状況

市内の児童館は4カ所あり、平成15年度1年間の来館児童数は、合計でのべ約34,000人となっています。



保護者の数は除く



## 移動児童館の実施状況

児童館のない地区に児童館職員が遊びの「出前」をする移動児童館事業は、平成 15 年度では、市内 10 地区で 18 回実施し、のべ 2,000 人を超える児童が利用しています。

	実施回数	実施地区数	のべ利用者数
平成 13 年度	12 回	11 地区	765 人
平成 14 年度	12 回	8 地区	750 人
平成 15 年度	18 回	10 地区	2,423 人

## 学校・教育に関する施策の状況

### 幼稚園、小中学校の状況（市立）

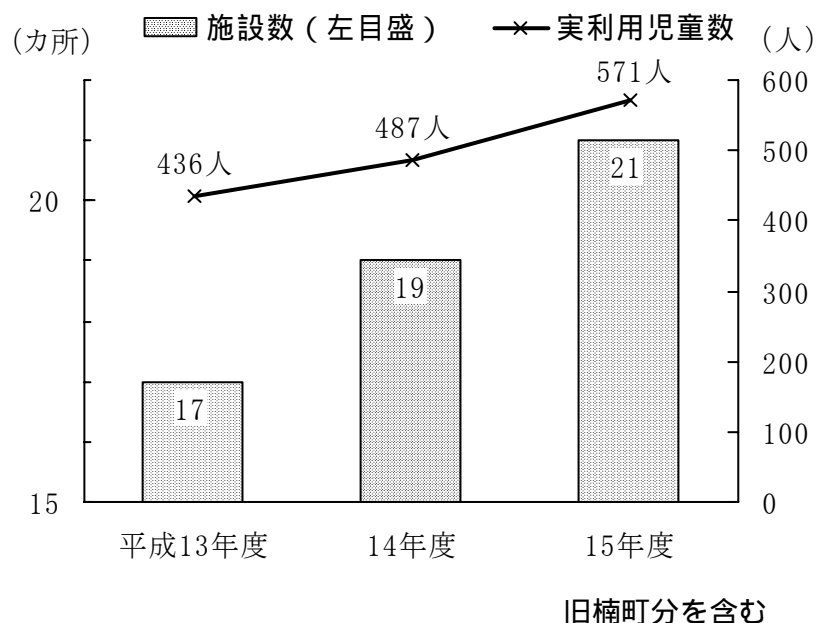
平成 16 年 5 月 1 日現在の幼稚園数は 24 園(旧楠町分の 2 園を含む)、小学校は 40 校(旧楠町分の 1 校を含む)、中学校は 22 校(旧楠町分の 1 校を含む)となっています。また、それぞれの通園・通学児童数は、幼稚園 1,662 人、小学校 18,237 人、中学校 8,578 人となっています。

	幼稚園		小学校		中学校	
	園数	児童数	学校数	児童数	学校数	児童数
平成 14 年	24	1,684	40	18,208	22	8,945
平成 15 年	24	1,749	40	18,085	22	8,726
平成 16 年	24	1,662	40	18,237	22	8,578

各年 5 月 1 日現在、旧楠町分を含む

## 学童保育所の状況

平成 15 年度の学童保育所施設数は 21 カ所（旧楠町分の 1 カ所を含む）月平均実利用児童数は 571 人となっています。平成 13 年度の実利用児童数と比較すると約 30%増加しています。



## 幼稚園における子育て支援の活動状況

子育てをめぐる不安や孤立感の解消、子どもが友達をつくり、のびのび遊べることをめざし、すべての幼稚園で保護者に園庭、保育室を開放し、「あそび会」を実施しています。また、地域住民が主体となって行う子育て支援活動に補助を行っています。（2団体）

	年間実施回数 (回)	のべ参加数 (組)	相談件数 (件)	登録数 (組)
平成 13 年度	861	17,373	417	2,160
平成 14 年度	831	17,480	364	2,193
平成 15 年度	831	15,915	346	2,007

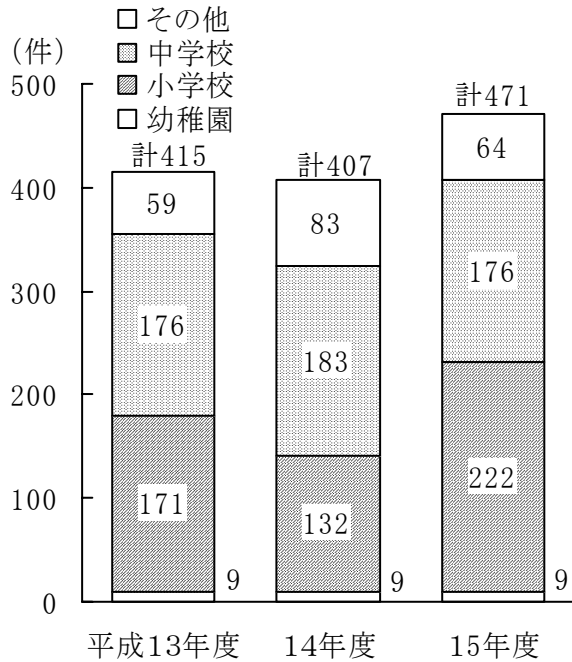
旧四日市市分

各項目が減少しているのは、平成 14 年度から下野地区で、平成 15 年度から富洲原地区で、市民活動団体が行う子育て支援事業が実施されていることによるものです。

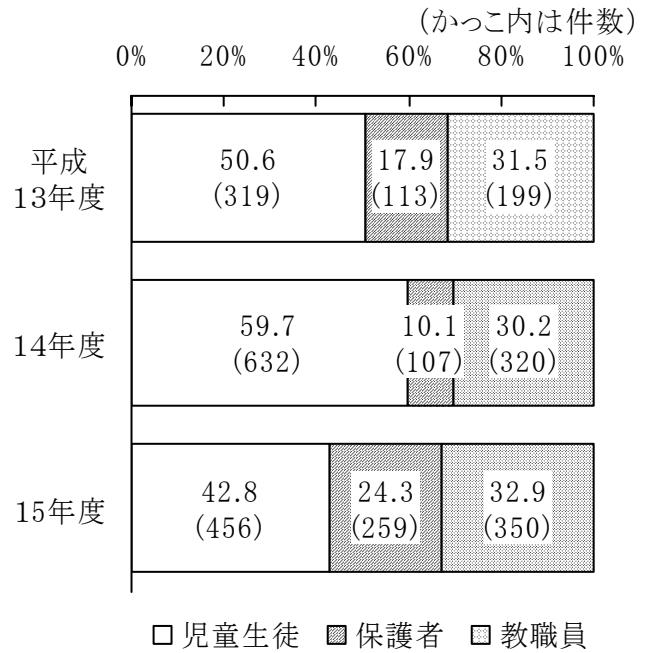
## 教育相談の状況

教育センター、指導課、少年センターの教育相談担当者が、電話や面接による相談を行っています。また、平成16年度現在、市内の小・中学校のうち15校に配置されているスクールカウンセラー及びスクールカウンセラー未配置の中学校に配置されている心の教室相談員も、保護者等からの相談に対応しています。スクールカウンセラーへの平成15年度の1校平均の相談件数は107件で昨年度より増加しています。

電話・来室による相談件数



スクールカウンセラーへの相談者別割合



ともに旧四日市市分

# 母子保健施策の状況

## 母子健康手帳の交付状況

母子健康手帳の交付状況は、平成 13 年度以降減少しており、平成 15 年度は 3,259 件の交付でした。

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
交付件数	3,518	3,377	3,259

旧楠町分を含む

## 妊婦健康診査の受診状況

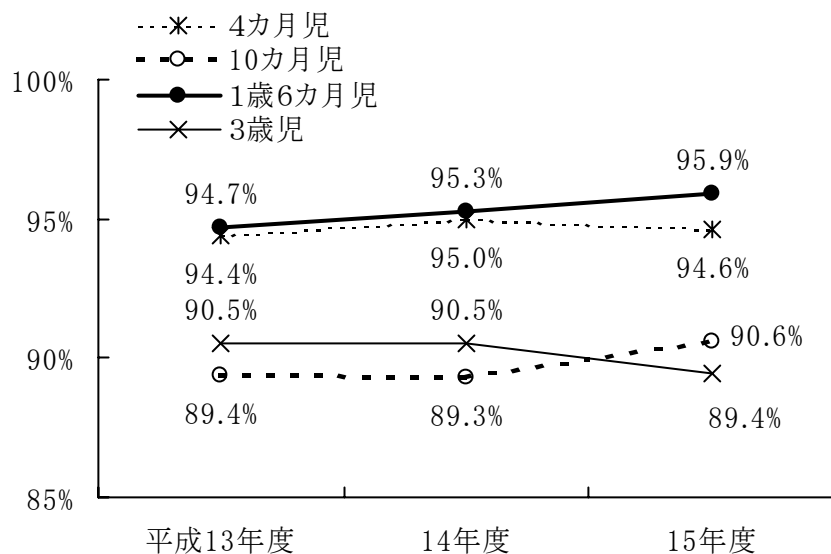
妊婦健康診査の受診率は 90%を超えています。対象者数、受診者数ともに、平成 13 年度以降は減少しており、平成 15 年度の受診者数は前期 2,991 人、後期 2,855 人でした。

実施時期	平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
対象者数	3,403		3,251		3,143	
受診者数	3,207	3,084	3,163	3,062	2,991	2,855
受診率	94.2%	90.6%	97.3%	94.2%	95.2%	90.8%

旧楠町分を含む

## 乳幼児の健康診査の受診状況

乳幼児の定期健康診査の受診率は、90%前後となっています。



旧楠町分を含む

## その他の母子保健事業の利用状況

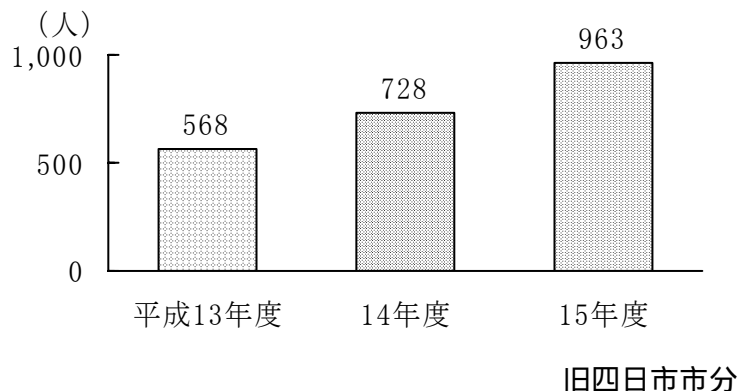
親子の健康づくりと育児支援のための各種事業をそれぞれ月1～4回程度実施しています。「育児相談」は、1年間にのべ1,800～1,900件前後の利用があり、月1回ごとに実施する「育児学級びよびよクラブ」には、のべ1,000人を超える利用がありました。

		平成13年度	平成14年度	平成15年度
育児学級 「パパママ教室」	実施延回数	12	12	12
	参加実人数	268	319	310
プレママ栄養教室	実施回数	-	4	4
	参加延人数	-	44	40
デンタルマタニティ スクール	実施回数	12	12	12
	参加人数	60	73	68
育児相談	実施回数	48	48	36
	参加延人数	1,805	1,924	1,796
育児学級 「びよびよクラブ」	実施回数	12	12	12
	参加延人数	1,082	1,082	1,140
乳幼児食教室	実施回数	24	24	24
	来所者総数	532	516	580
心肺蘇生法・ 事故予防教室	実施回数	-	2	4
	参加実人数	-	132	77
心理発達相談	発達相談延人数	121	175	317
	育児不安相談延人数		27	114
親子教室 「ラッコ」	実施回数	-	12	12
	参加延人数	-	85	122
親子教室 「イルカ」	実施回数	-	12	12
	参加延人数	-	52	102
子育て支援での 育児相談	実施回数	9	34	89
	相談延人数	-	139	463
幼児歯みがき教室	実施回数	27	27	30
	参加人数	419	574	679
訪園歯みがき教室	実施園数	10	10	13
	参加人数	797	820	1,218
電話相談	相談延人数	1,081	1,062	1,656
訪問指導	訪問延人数	568	728	963

旧四日市市分

また、希望者や母子保健事業等において継続支援を必要とする親子に対しては、電話相談や訪問指導を実施しており、のべ人数は増加しています。

訪問指導の状況（訪問延人数）



## その他の施策の状況

### ファミリー・サポート・センターの活動状況

子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての援助を行いたい人（援助会員）がお互いに助け合うファミリー・サポート・センター事業は、平成9年度から始まり、働く女性への支援から、地域で子育てを支えあうといった、より広く利用しやすいものとなりました。その結果、年々、会員数・活動実績ともに増えてきています。

平成15年度においては、依頼会員297人、援助会員154人、両方会員66人、合わせて517人が会員となっています。また、活動状況は、3,361回、6,231時間となっており、保育園・幼稚園の迎え、帰宅後の預かり、保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助などを行っています。

